

対カンボジア環境プログラム無償資金協力 「森林保全計画」 機材引渡式

11月23日（木）、プノンペンのカンボジア農林水産省森林局トレーニングセンターに於いて、同省主催「森林保全計画」重機引渡式が開催されました。

我が国は、2009年11月に東京で開催された日・メコン地域首脳会談において「グリーンメコンに向けた10年」イニシアティブを打ち出すなど、カンボジアを含むメコン地域諸国における環境・気候変動分野での協力を重視しており、本計画もこのイニシアティブに基づき行うものです。

森林保全計画は、森林の減少が続くカンボジアにおいて、違法伐採及び違法森林選挙から森林を守るパトロール、植林などカンボジアの森林減少及び劣化への対策を支援するものです。右計画に基づき、カンボジア農林水産省森林局に対して、ピックアップトラック55台、トラクター4台などの機材が供与されました。同式典には農林水産省森林局関係者をはじめ300名以上が参列しました。

式典では冒頭、黒木大使から「日本の協力により、温室効果ガスの排出を削減し森林の炭素吸収能力を向上させることによって、カンボジアのREED+戦略が推進されることを望みます。」と述べられました。

続いて、チャン・サルン農林水産大臣より、日本国民及び日本政府に対する謝意を述べたうえで、「今回の支援を通じて、農林水産省としては国家森林計画に基づいた森林保護活動について更なる努力をしていかなければならない。日本から供与された機材は、持続的な森林及び野生動物の管理にとって非常に重要なものである。」と述べられました。

その後、黒木大使よりチェイン・キムスン森林局長へと機材の鍵が授与され、黒木大使、チャン・サルン大臣及びチェイン・キムスン局長が供与した機材の状況を視察し、式典は和やかな雰囲気の下に終わりました。



写真-1 黒木大使のスピーチ



写真-2 供与した機材



写真-3 鍵の引渡



写真-4 機材の状況視察